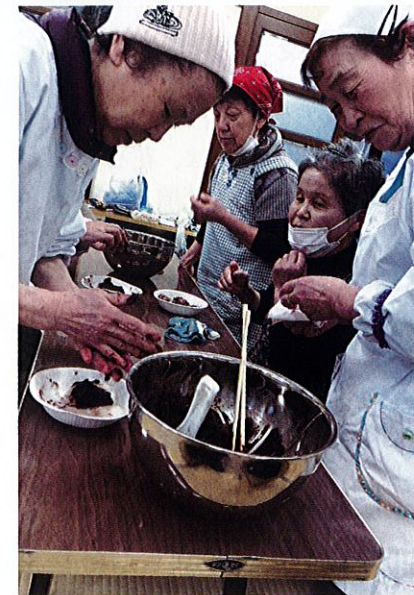


いつまでも住み続けたいまち江名子校区

# えーまち (e-machi)



## 2/15 楽しかったよ 餅つき大会



2月15日(土) 荏名団地公民館で『餅つき大会』が開催されました。これは、荏名団地町の長寿会“荏々名紅葉会(会長：飯山博紀氏)”が町内の子ども達に呼びかけたもので、当日は親子16名、長寿会員14名、計30名の参加で盛り上がりました。

これまで荏々名紅葉会と子ども達との交流は、夏休みに行われるラジオ体操のみでしたが、12月にある会員が「もうすぐ正月になるなー。昔は餅つきをしたもんやったなー」とつぶやいたところ、「そしゃ、餅つき大会をやってみないか」と意見がまとまり、年末の役員会において『この町を元気にしていきたい』との願いのもと企画・決定したのでした。

前日は事前に社会福祉協議会から借りてきた臼と杵、餅米を準備し、当日は、4升の餅米を親子で順番についていきました。会場にべったんべったんと心地よい音が響き、できあがったつきたての餅をきなこやあんこでくるんでおいしく頂くことができました。

子ども達からわき上がった「楽しかった」「来年もやって」の声を励みに、来年度も子ども会育成委員会と連携して実施する予定です。



## 令和2年度総会開催のご案内

本年度の事業報告と会計決算報告、令和2年度の事業計画・予算案等について審議します。『住み続けたいまち江名子校区』を目指してまちづくりを進めていくため、地域の皆さんに広く理解していただきたいと思ひます。

・期 日；4月25日(土) ・時 間；午後5時30分 開会 ・場 所；江名子小学校第2体育館

## 2/24 まち協役員研修

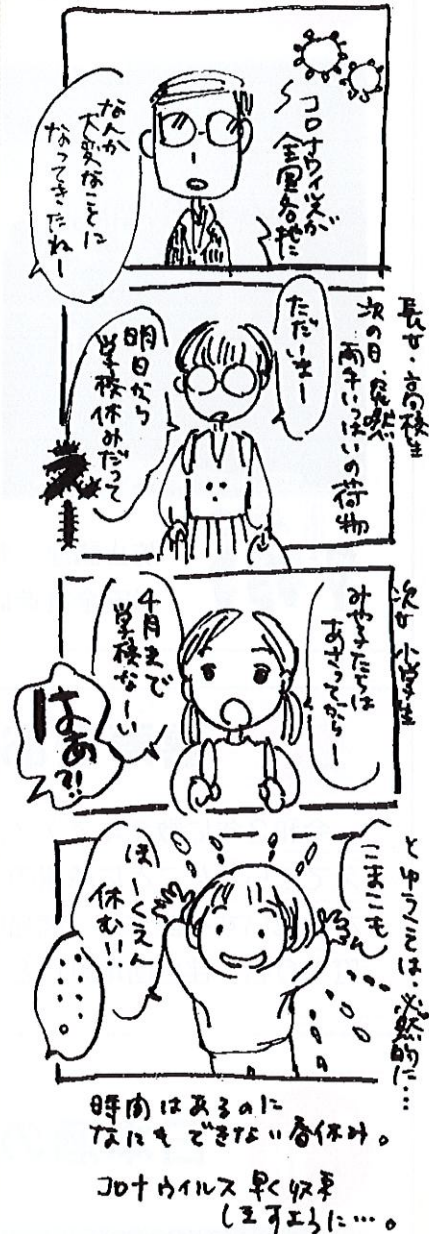


2月24日(月・振替休日)、本年度の役員研修として“富山県四季防災館”へ行ってきました。富山の春夏秋冬の災害や自然の特性を体験できる学習施設を活用して、自然災害の歴史とその克服に向けた先人たちの努力について学べる体験型学習施設でした。【流水体験】では、15・30・45cmの水深の中を歩く体験をし、水深によって歩きづらさが変わることを体験しました。【地震体験】では、地震の揺れを3次元に動く振動装置でリアルに体験でき、振動や加速度等のデータ及び地震波の波形が表示されました。また【風雨災害体験】では、体験室内で豪雨と暴風を体験したり、両方の同時体験をしたりできました。

次年度は、まち協の事業として、多くの皆さんに経験、学習してもらいたいと考えています。

## むつみのつぶやき

作：垣内奈津子



時内はみるかに  
はなにもできないお祭り。  
お祭り早く早く  
(まっちゃん)に...

## まち協クイズ 15

— 頭隠して尻隠さず —  
【出題：丸山 昌平氏】

おなじみまち協クイズ15をお届けします。今回も前回に続けて四文字熟語 隠しです。下記の四つの諺に隠れている四つの漢字と、その字から成る四文字熟語を教えてください。

- ア 女心と秋の ( ) イ 雨 ( ) の笥
  - ウ 古川に水 ( ) えず エ 嵐の ( ) の静けさ
- ※回答は次回のこの欄で紹介しします。

前回の答え ア 下 イ 急 ウ 直 エ 転  
前回 三つ目の諺「人と屏風は直ぐには立たぬは 屏風は折り曲げないと立たないように、人間も周りの人たちと折り合いを付けながら進めなければ 何ごとも成り立たないの意味。

## 解答用紙

答えを記入して4月15日までにまち協事務室へお届けください。抽選で正解者10名にプレゼントを差し上げます。FAXによる応募もOKです。まち協FAX：34-7253

ア	イ	ウ	エ	四文字熟語

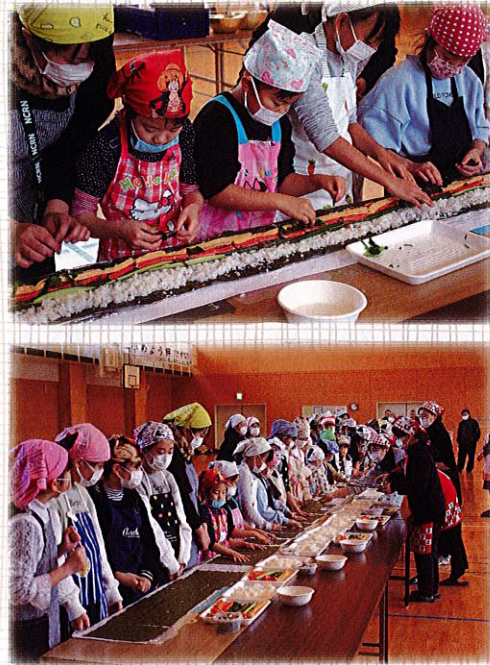
お名前 \_\_\_\_\_  
ご住所 \_\_\_\_\_  
ご連絡先 ☎ \_\_\_\_\_

江名子校区まちづくり協議会 〒506-0818 高山市江名子町2838 江名子小学校体育館内 TEL/FAX: 0577-34-7253 Email: e-machi@hidakayama.ne.jp



2/1

## ジャンボ恵方巻作り



2月1日(土)、江名子小学校体育館にてジャンボ恵方巻を作りました。講師としてJAの方にお越しいただき、飛騨の食材をたっぷりつけた恵方巻についてご説明いただきました。まずは、焼きのりをつなげ、次に酢飯を平らに広げ、そこへ飛騨牛などのおいしい具をたくさんつけて、「せ〜のっ! よいしょ〜!」とみんなで巻き上げました。出来上がったジャンボ恵方巻は、なんと14.7mもあり、去年の記録を更新しました。その後、切り分けておいしく頂きました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました!



1/21

## 味噌づくり講座



1月21日(火)、江名子小学校の家庭科室にて、「手前みそづくり講座」を開催しました。講師には、JAの上坪さんにお越しいただきました。まず、耳たぶ位の柔らかさに煮た大豆と米麹、豆の煮汁を混ぜ、それを潰します。今回はミンチを作るような機械を使用しましたが、ご家庭ではすりこぎ等で潰せばよいそうです。潰したものを団子状に丸めて容器に詰め、最後に、カビ予防のお塩をふりました。後は、重しを乗せて新聞で蓋をして保管すれば、1年〜1年半後においしい味噌になるそうです。1年後が楽しみです。

## 市へ情報提供書(町内要望)を提出

各町内会から要望事項について新規や継続分も含めて優先順位をつけていただき「情報提供書」を提出していただきました。江名子校区まちづくり協議会がとりまとめ延べ80件を町内会部会の皆様と市議会議員さんに同席をいただき3月19日に高山市長さんに提出いたしました。今後、市の担当部課毎に【実施・一部実施・対応不可・関係機関へ伝達・その他】のいずれかの形で回答され、実施・一部実施分については、令和2年度事業として順次実施されていきます。

2/28

## 高齢者交通安全大学校閉講式



5月に開校した「高齢者交通安全大学校」の閉校式が、2月28日に高山警察署にて行われました。受講者全員に「修了証書」が授与されました。また、大学校長の小坂正雄上江長寿会長さんはじめ13名の皆勤の皆様には、『皆勤賞』も贈呈されました。

大学校では、交通安全講話のほかに、“安全サポートカーの試乗”“認知能力検査”“高山地区地域交通安全大会への参加”など、年8回の講習・講座に参加され、交通安全に対する知識や技能を身に付けられました。また、2月には、暮らしの安全を守るため「振込詐欺防止講座」も開催されました。皆様には、江名子地域の交通安全リーダーとして、交通安全推進に貢献していただけるものと期待しております。



## 喜寿をお祝いします。



令和2年に数え年で77歳を迎えられる方(令和元年末に満75歳)に、これまで地域づくりを支えてこられたことに感謝の意を示し、これからも生きがいを持って暮らしていただけるように、長寿をお祝いする記念品(商品券)を贈呈します。山口町6名、上江名子町8名、下江名子町22名、錦町10名、荏名団地町6名、計52名の皆さんに町内毎に贈呈されます。

1/18

## 日本酒の会・わいわいワイン会



1月18日(土)、荏名会館にて“日本酒の会(日本酒講座)”を開催しました。講師の坂本雄一さんに、こだわりの珍しい日本酒をご紹介いただきました。今回は地域のイベント等と重なり参加人数が少なくなりましたが、ゆっくりと日本酒について学ぶことができました。冬にうれしい熱燗も、温度によって呼び名が違うことや、熱燗の方法を間違えるとおいしい日本酒もおいしく飲めないということも教えていただきました。



また、2月8日(土)には、上江ふれあいセンターで“わいわいワイン会”を開催しました。今回は日本のワインについて、長野県や山梨県等の産地の様子やこだわりを持ってワイン作りに取り組まれている生産者のお話などを聞きながら、いろいろなワインを味わっていただきました。



# 一年を振り返り

二年間にわたりまち協の事業推進にご尽力いただき、本年度末でご退任されます社教委員の皆さんと各委員長さんに今年一年のまち協の事業を振り返っていただきました。皆さん長い間ご苦勞様でした。ありがとうございました。

## 「ぜひ参加しましょう」

社教委員長 平塚 肇

皆さんこんにちは。社教では、各委員・事務局とワンチームとなり、子どもからお年寄りまで参加できる事業を企画し活動しています。地域の絆は日頃からの積み重ねが大切ですが、皆様の参加・ご協力を頂き、しっかりとつなぎ合わされていると感じました。

地域に根差した史跡めぐりなどは、家族参加も多くみられ、郷土の文化・歴史をひもとき自分の住む町に関心をもって頂いたことに、次世代につなぐ地域づくりにつながるものを感じます。

多くの事業に正直なところ驚きましたが、地域活動によって住み慣れた地域がまた違う視点で見え、仲間もできます。向き合うことがあって忙しい方も、落ち着いたら是非地域活動に参加してみてください。

## 「感動した行事」

広報委員長 富田 益廣

下江社教では、一年の半分を花壇の植栽から管理を行いました。まち協・下江町内会・長寿会の方々に支えられ頑張りました。ありがとうございました。よかったことは、花をいっばい覚えたことや花を育てる喜びを感じたことです。また何と言っても高山市の花壇コンクールで2年連続表彰していただいたことです。

まち協では、広報を担当しました。各委員会の行事の写真を撮り、ホームページや「えーまちだより」に載せて頂きました。校区の皆さんの生き生きした姿を撮ることができよかったと思います。

最後に、感動した行事がありました。荏名団地の長寿会が主体となり、地域の皆さん子ども達との昔懐かしい杵餅つき会です。私の子どもの頃の思い出がよみがえりました。今年が初めてだそうです。是非来年も続けて頂きたいと思いました。

## 「良い経験になりました」

家庭教育副委員長 輪湖 憲征

当初は、自分に何ができるのかと不安な気持ちだけで、大変な役を受けてしまったなあと感じていました。しかし、いろいろな行事に参加していくうちに、本部役員、社教委員の立場等関係なく、全員の協力体制が確立して安心して仕事をする事ができました。社教委員になるまでは、まち協について何も知りませんでした。横の繋がりがとても強く、江名子校区は素晴らしい町だと感じました。

そして、高齢化に伴い、行事の形も変えていった方が良いのではと感じたところもありました。その一つは、運動会です。荏名団地町でも参加者を集めるのに毎年苦勞しています。参加が難しい孤立してしまっている高齢者の方々にも気楽に参加して頂ける行事に変えても良いのではないかと思います。

社教の仕事に携われたことは、私にとってとても良い経験となりました。

## 「力を合わせつないでいく」

厚生委員長 平野 秀治

この二年間、係の仕事の一つ一つに取り組んで済ませてこられました。慣れないことなので細かい作業もあり手間取ることもあったりしました。気持ちも折れかかったりしましたが、周りの方達の手助けや協力もあり、力を与えてもらいこなすことができました。もとよりこのような活動は、これからも町内会を盛り上げていく活動として、みんなが力を合わせる必要性を感じました。受け持った役目をつなぎ、これまで続けられてきたことに深い思いを感じました。



## 「地域を知る」

教養委員長 荒川 耕児

まち協の活動に携わらせていただいたこの2年間は、江名子地域のことを知る良い機会となりました。私は県外からの移住者で、今まで地域の活動に参加することはほとんどなく、自分か住んでいるこの江名子のことを何も知りませんでした。それが社教委員としてまち協の活動に参加させていただくことで、江名子がどのような歴史をもち、どんな人が創り上げ、そしてこれからどのように創っていこうとしているのかを知ることができました。それはとても意味があったと感じています。

全国的にこのような地域の活動が下火となる中、江名子まち協の活動も例外ではないと思います。LINEの活用等も始まっていますが、これからも若い世代が参加しやすい活動にしていっていただければと思います。

## 「地域との関わり」

家庭教育委員長 浅尾 公希

“何をやったかより誰とやったか、どこへ行ったかより誰と行ったか”これが、この委員会が行う行事の本質だと思います。親子、友達、近隣、そして地域が関わるということ、当たり前にある住み良い地域は、地域によって守られ維持されていることを知り、後の世代もそうあり続けてほしいと願います。しかし、地域に関心を持てる大人になってほしいと今の大人も意識しなければ、この先の当たり前はそうではなくなるのではないかと、そんなことを感じながら、日頃体験できないようなことや良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。

## 「多くの思い出」

体育委員長 山本 賢治

本年度体育委員長になり、仕事と両立できるのかと心配していましたが、無事任期終了となりました。思い出がたくさんできました。町内対抗大運動会が中止になったこと、市長と語る会の懇親会で市長さんと語り合えたことなどです。ビール講座やワインの会では知らない銘柄に出会うこともできました。軽スポーツの会へは、毎回多くの方が集まってくれました。ジュースはスーパーで調達していましたが、足りなくなってコンビニへ走ることもありました。

4月からは普通のおじさんになりますが、また講座等に声をかけてもらえたらうれしいです。グラウンドゴルフ大会や町内対抗大運動会、ボウリング大会には是非参加したいと思っています。

## 「体験し楽しんでほしい」

子ども会育成委員長 枋本 友樹

昨年度の初回顔合わせの際に社教部の一員としてまち協の活動に参加することとなり、とまどいながらも何とか1年間を務め、いよいよ任期もあとわずかとなりました。今期の活動は、天候やウイルスの影響でいくつかの行事が縮小となりましたが、実施できた“ペットボトルロケット”“ドラム缶ピザ”は、参加した子ども達の笑顔や歓声、慣れた手つきに感心したり、こちらまで童心に返って嬉しくなったりしました。そんな行事を未経験の子ども達には、次回はその楽しさを知ってもらいたいと思います。最後に、運営にご尽力いただいた各委員、社教委員の皆様並びに事務局の皆様、ありがとうございました。

## 「地域のコミュニティーづくり」

女性委員長 畦畑 洋子

そろそろ桜便りも近い季節となりました。この一年間何かと至らぬ点も多い私が、皆様のご協力を得まして、無事に任期を終えることに感謝しております。

江名子町に住み20年程の私は、今迄毎日仕事に追われ、まち協で行われているさまざまな活動に参加することができませんでした。しかし市内には、自治会を始めとしたさまざまな団体が活動されて、これを通して地域のコミュニティーが形成され、地域が希薄化する問題解決にもまち協の活動で、よりよい地域づくりを目指しておられる事を知りました。これからも、住みよい地域づくりのために、一人暮らしの高齢者から共稼ぎ子育て世代等、皆が楽しめる場を作り、地域の危険箇所等のいろいろな要望等も、一つ一つ解決して頂けたらと願っております。私も微力ではありますが、協力できればと思っています。1年間ありがとうございました。

